

# 深谷けんじ

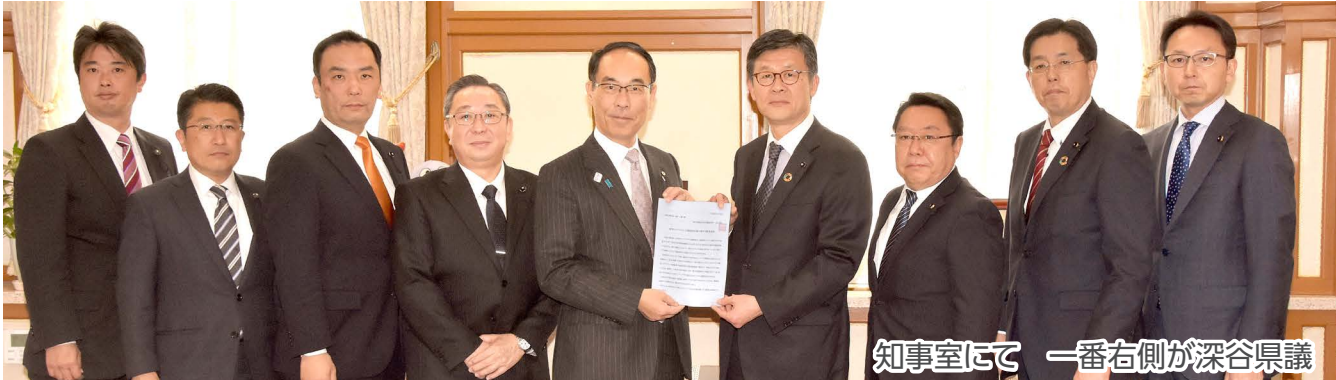
## 県議会ニュース

2020年春  
第4号



### 深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 45歳  
川越市出身  
東京農業大学第三高等学校卒  
創価大学文学部社会学科卒  
公明党県企業局長・青年局次長  
福祉保健医療委員会 委員  
自然再生・循環社会対策特別委員会 委員



知事室にて 一番右側が深谷県議

## 新型コロナウイルス感染症対策に全力

2月20日 大野知事に「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望」を提出


埼玉県議会公明党議員団は、感染拡大に際しても対応可能な電話相談体制の強化、聴覚障害者がファックスで相談できる体制の構築など全11項目にわたる要望を行いました。こうした要望を受け、「埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター」が3月1日より24時間365日対応で開設し、ファックスでの相談も可能となりました。

また、埼玉県LINE公式アカウント「新型コロナ対策パーソナルサポート」も開設。友だち追加し、現在の状態を入力いただくことで、一人ひとりの状態に合わせた新型コロナウイルスに関する情報をお知らせします。県議会では、介護や医療施設へのマスク・消毒液の配布など、予防策強化のため、2019年度と2020年度で総額約35億円の新型コロナウイルス対策の補正予算が成立しました。

**埼玉県LINE公式アカウント**  
**埼玉県 新型コロナ対策**  
**パーソナルサポート**

質問にお答えいただくことで、あなたの状態に合わせた新型コロナウイルスに関する情報をお知らせします。

QRコードを読み取って  
友だちになることで利用できます▶▶▶



## 新型コロナウイルス感染症 県民サポートセンター

24時間  
365日  
対応

☎ **0570-783-770**

FAXでもご利用いただけます。

**FAX 048-830-4808**

● 心配な症状が出た時の対応、予防に関することなどの相談窓口です。

埼玉県 新型コロナ

## 令和2年度 防災・減災対策に重点

令和2年2月定例会は、2月20日から3月27日まで行われ、埼玉県議会公明党議員団からは、西山じゅんじ議員が代表質問、安藤ともき議員が一般質問に登壇しました。

新年度予算は、「安心・元気のスタートアップ予算」として「安心・安全しっかり確保」、「持続可能な成長・発展」、「誰もがいきいき活躍」の3本柱を重点事業として編成。1兆9,603億1,500万円となる2020年度一般会計当初予算が成立しました。

「安心・安全しっかり確保」では、令和元年東日本台風を踏まえ、県管理の61河川101カ所で決壊や漏水・浸透対策などを行う「県土強靱化緊急治水対策プロジェクト」が展開されます。また、国管理河川3箇所、県管理河川1箇所です堤防が決壊したことを受け、入間川緊急治水対策プロジェクトとして、国や地元市町と連携し、河川の流下能力向上などの治水対策と減災に向けたさらなる取り組みを推進します。

こうした事業は、昨年12月定例会一般質問において深谷けんじが、「県民の命と財産を守るため、今こそ防災・減災対策を県政の主流に押し上げ、あらゆる対策を講ずるべき」と大野知事に迫り、「堤防等の災害復旧を早急に進め、計画に定めている治水対策のスピードアップを図り、防災・減災対策を県政の主流の一つとしてしっかり取り組んでいく。」と知事が答弁したことで大きく反映されたものです。

これからも、県民の安心・安全のために、現場第一主義を信念とし、皆様の声を県政に反映するべく奮闘して参ります。



▲川越市の堤防決壊現場での救出作業を見守る 令和元年10月 (右側が深谷県議)



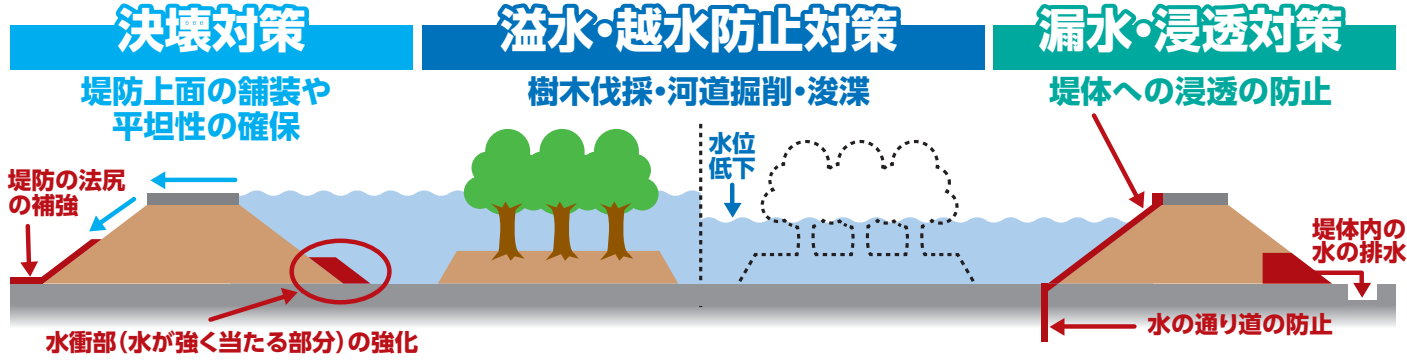
▲公明党・斉藤幹事長と東松山市の堤防決壊現場を視察 令和元年11月 (一番左側が深谷県議)



# 県土強靱化緊急治水対策プロジェクト

令和元年東日本台風での被災を教訓に、県管理の61河川・101ヵ所で決壊対策、漏水・浸透対策、溢水・越水防止対策、浚渫の強化などを実施します。

川越市内では、九十川（決壊対策）、新河岸川・南小畔川・小畔川（溢水・越水防止対策）で治水対策を行います。



## 1 決壊対策

台風第19号で越水した堤防について補強を行います。越水に至っていない箇所においても、仮に越水した場合でも堤防が決壊しない対策を進めていきます。

## 2 溢水・越水防止対策

溢水・越水という現象自体を少なくするために、河道内の樹木を伐採し、河道を掘削することで水位の低下を図るほか、可能な地区では既存の開発調整池の活用を進めていきます。排水機場では、周辺が浸水しても、その機能を維持できるよう耐水化の対策を実施します。さらに、河川の合流点付近の浸水対策を検討していきます。

## 3 漏水・浸透対策

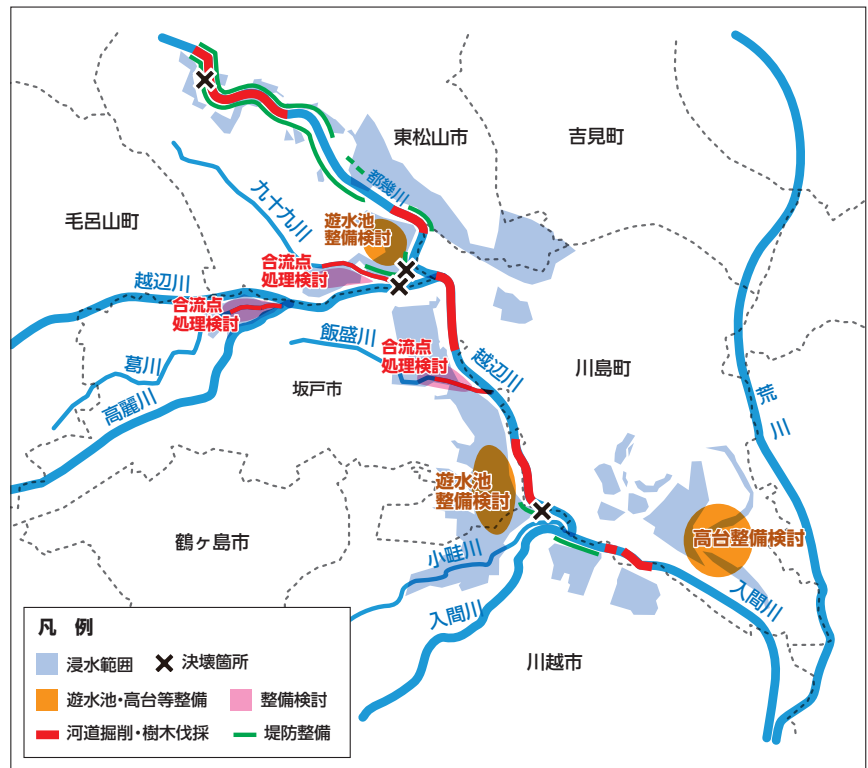
堤防からの漏水や浸透への対策として、堤防への浸透を防止する遮水シートの設置や、水の通り道を防止する止水矢板の設置、堤体内の水を速やかに排水する設備の整備を実施します。

# 入間川流域緊急治水対策プロジェクト

入間川流域では、令和元年東日本台風において、国管理河川3箇所、県管理河川1箇所ですべての堤防が決壊が発生するなど流域の広範囲で外水氾濫が発生しました。

そのため、国・県・市町で構成する大規模氾濫に関する減災対策協議会の入間川流域部会で「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」が取りまとめられ、埼玉県も積極的にこのプロジェクトを推進していきます。流下能力の向上として堤防整備を進めるとともに、河道内の土砂掘削、樹木伐採により水位低減を進めていきます。また本川との合流点において、本川への流出抑制や支川の溢水・越水軽減、支川流域内における内水浸水の軽減を兼ねた、遊水池や排水機場等を組み合わせた対策を検討していきます。

決壊した越辺川右岸の川越市平塚新田付近の堤防は、昨年10月24日に応急復旧対策が完了。本工事では、応急的に復旧した堤防を災害に強くし、高さや幅を確保した新しい堤防に作り替えます。6月の出水期までに補強対策が完了する予定です。



## 河道・流域における対策

目標	洪水における入間川、越辺川、都幾川からの越水防止
全体事業費	約318億円
災害復旧	約21億円
改良復旧	約298億円
事業期間	令和元年度～令和6年度

## 深谷質問により

# 24時間運用の音響信号機が大幅拡大へ

県内2基から13基へ 今回新たに11基拡大 (令和2年1月末現在)

深谷けんじは令和元年12月定例会一般質問において、視覚障害者団体からの強い要望のもとに、県内996基整備されている音響信号機のうち、24時間運用されているのがたったの2基であると指摘し、運用時間の拡大と高齢者押しボタンまたはシグナルエイドに対応する音響信号機を大幅に増やすべきと強く迫りました。

警察本部長は「24時間の運用も含め、運用時間の

拡大を図る」「高齢者押しボタン及びシグナルエイドに対応する信号機の拡大に努める」と答弁。深谷けんじの鋭い質問は、翌日の埼玉新聞一面にも大きく報道されました。その結果、1月末現在で新たに11基が24時間運用へ変更され、合計13基に。深谷質問がきっかけとなり大幅な拡大となりました。今後もさらに拡大の予定です。



▲本川越駅前東口の音響信号機も24時間運用に

### 従来より24時間運用

浦和 浦和駅西口  
狭山 狭山台三丁目

### 新たに24時間に運用時間を拡大

浦和 県庁正門  
浦和 中郵便局前  
浦和 伊勢丹前  
川口 川口駅東口

大宮 スーパーアリーナ南  
大宮 交通広場前  
大宮 カタクラ西  
大宮 大宮駅東口

大宮 大宮駅東口横断路  
大宮 大宮駅前東口横断路  
川越 本川越駅前東口

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

### 埼玉県庁公明党控室

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL048-822-9606 FAX048-822-9408

### 自宅事務所

〒350-0015 埼玉県川越市今泉88-14  
TEL049-236-2566 FAX048-611-7393

深谷けんじ  
ホームページ

